

～樹木医から診た名古屋の庭園の現状と課題～

20250719

樹木医 伊藤 悟

1 はじめに

- 1 人の暮らしに緑、庭園、公園は必要
- 2 タモリが熱田台地を視察

2 樹木が長生きできる環境・・・熱田台地とその成り立ち

- 1 熱田台地の遺跡群・・・人が暮らすのに安心安全な環境である証拠
- 2 名古屋城築城と城下町の開発・・・『名古屋城下町ニュータウン』の大成功

3 樹木と暮らす・・・熱田台地に巨木や名木が多い

- 1 残されて名木になったお城のカヤノキと植えられて巨木になった神宮のクスノキ
- 2 時代の変遷と名木の順位・・・江戸時代はマツが大流行 その後はクスノキへ

4 熱田台地の巨木と庭園

- 1 名古屋城カヤノキと熱田神宮の森のクスノキ群



- 2 市内の庭園・・・徳川園 白鳥庭園 下茶屋公園 三之丸庭園 二之丸庭園



5 課題とまとめ

- 名古屋城はカヤノキの巨木が残されたが、現在の熱田台地の中心的な緑は神宮の森で、持ち込まれたクスノキ（市の木）の巨木やクロガネモチ（熱田区の木）などが立派に育っている
- 熱田台地にある庭園樹木は健康に育つので、それぞれの役割を担う形に成長を制御する剪定技術で調整が必要・・・徳川園 旧東別院庭園 良質土の盛り土地（5～10m）の庭園も同じ熱田台地以外の庭園樹木は箱庭的に育てる・・・白鳥庭園

- 名古屋城二之丸庭園は整備が完了すれば特別名勝になると言われている 整備を進め、この地方の庭園文化を継続発展させよう！
- 旧名古屋城全域から復元整備の順位を定め、天守閣木造復元の先には二之丸庭園の復元と合わせ二之丸御殿の復元も目指したい
御殿は天守閣のような詳細な実測図が無く、増改築が繰り返されていることから、外観は忠実に再現し、内装設備はパーティーや宿泊が可能なホテル様式としたい
- 以上の事業推進を図るためには御城局長が必要であり外堀全域や徳川園も一体化した整備・管理運営体制構築へ！